

## 「マイナンバー」制度について

**質問** 赤ちゃんからお年寄りまですべての国民に個人番号を割り振り、納税や年金、社会保障に関する情報を一元的に管理する「マイナンバー」法が成立、2016年から利用が始まる。その実務の多くを担わされる自治体として、仕事はどう変わるのか、市民の生活はどう変わるのか、実施に向けての準備はどうするのか。また、膨大な個人情報

報の漏えい、プライバシーの侵害、不正利用などのリスクにはどう対処するのか。

**答弁** 番号制度導入による事務事業及び業務の見直しを行い、必要に応じて関連事務の条例・規則等を改正・制定し、各関連電算システムの改修・新規導入、そして職員の研修等を行う。リスク対処に関しては、今後示される国のガイドライン等に沿って、適切に対応を講じていきたいと考えている。

**その他の質問** ○市長等の退職手当の減額について

## 5歳児健診実施について

**質問** 発達しょうがいはいは早く気づき支援することが大事です。厚生労働省の研究結果でも5歳児健診で軽度発達しょうがいと診断された子どもたちの半数以上は3歳児健診でなら発達上の問題を指摘されてなかった。軽度発達しょうがい児に気づくための場としては5歳児健診が極めて有用であろうと思われるかと結んでいます。県下

ではすでに名張市が実施している。鈴鹿市でも5歳児健康診査を行うことを求めます。

**答弁** 現在、子ども家庭支援室が中心となり、発達障がいがある幼児について、早期から発見し、支援をしていく、独自の、途切れのない発達支援の体制を構築している。5歳児健診としての健診は行ってないが、他市の健診方法等を参考にしながら、更なる支援体制の充実に努めていきたい。

**その他の質問** ○国押し付けの職員給与削減について

## ESCO(エスコ)事業によるLED化

**質問** 原発事故後の節電対策、円安による電気料金値上げCO<sub>2</sub>削減問題など課題がある中で、省エネ対策として、従来の蛍光灯からLEDに交換すると約40%～50%電気代が削減できるが、エスコ事業(省エネで削減できた電気代の一部を事業者の利益、設置費用、管理費に充てる。利用者は、初期費用もなく電気代の削減となり、包括的なサー

ビスを受ける)を導入してはどうか。

**答弁** 防犯灯のLED化に対しては、自治会が所有管理しており、エスコ事業導入するには市に所有権を帰属させる必要がある。また、実施した場合には電気代を市が全額負担することとなり、多額の予算となるため難しい。他の施設も、エスコ事業の導入適性や、他市の導入事例を検証し、省エネに配慮したスマートシティの構築に努める。

**その他の質問** ○防犯灯のLED化

## 特定外来生物 オオキンケイギクについて

**質問** オオキンケイギクはキク科の帰化植物で、環境省が平成18年2月に「特定外来生物」に指定している。しかし、コスモスの花に似ていることから、観賞用として自宅で栽培するケースもあると聞くが、本市のオオキンケイギクの生育状況と啓発について問う。

**答弁** 平成23年9月から平成24年10月まで、専門家とボランティアの市民調査員により、市内全

域の現地調査を行なった。市街地周辺を中心に、市内に広く分布し、道路沿いや空地のほか、畑や民家の庭先で多く見られた。市の管理する施設に対し、生育が見られた場合は、駆除するよう周知し、広報すずか5月20日号でも啓発記事を掲載した。今後、教育委員会や自治会と連携するなど、周知、啓発に努め、市民の皆様方とともに、防除に努めてまいりたい。

**その他の質問** ○市営住宅管理について  
○選挙管理委員会業務について